

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）基本計画（概要）について

1 テーマ 人と湖沼の共生 —持続可能な生態系サービスを目指して—

2 趣旨概要

人が湖沼と共に生きていき、生態系から得られる恵みである生態系サービスを将来にわたって持続的に享受するためには、どのようなことに取組むべきなのかを、住民、農林漁業者、事業者、研究者、行政など湖沼に関わりを持つ全ての人々が、情報の共有、意見交換を行う。

3 会議の概要

- (1) 主催者 茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）
- (2) 共催 国土交通省、環境省、農林水産省、土浦市、つくば市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市、霞ヶ浦問題協議会、ラムサール条約登録湿地ひぬまの会
- (3) 会期 平成30年10月15日（月）～19日（金）
- (4) 会場
メイン つくば国際会議場
サテライト 土浦市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市の拠点施設
- (5) 会議構成 基調講演、分科会（口頭・ポスター）、政策フォーラム、霞ヶ浦セッション、湖沼セッション、サテライトセッション、学生会議、いばらき霞ヶ浦賞授賞式、展示会、エクスカージョン、ワークショップ等
- (6) 会議の公用語 英語及び日本語
- (7) 参加者・規模 市民、研究者、企業、行政担当者 4,000名
- (8) 参加料 有料
- (9) 分科会 ①生物多様性と生物資源 ②淡水資源の確保
③湖沼の水質と浄化機能 ④水辺や地域の文化
⑤流域活動と物質循環 ⑥科学的知見に基づくモニタリング
⑦持続可能な生態系サービスに向けた対策・技術
⑧市民活動・環境学習 ⑨統合的湖沼流域管理

4 運営組織

